



JAMTA
JAPAN ARTISUT MUSIC TEACHERS ASSOCIATION

仕事に役立つ！カラオケ出世術

JAMTA

仕事に役立つ！カラオケ出世術

日本音楽講師協会
Japan Artist Music Teachers Association

本山 nackey ナオト

目次

<u>「カラオケで自己評価を上げる?!上司や取引先とのカラオケでのふるまい」</u>	
【カラオケをうまく使って自己の評価をあげよう！】	
【プレパレーションしよう。】	
<u>【これでビジネスもOK!! 上司や取引先の年代別おすすめのカラオケ選曲】</u>	
【カラオケがニガテな方】	

「カラオケで自己評価を上げる?!上司や取引先とのカラオケでのふるまい」

懇親会や接待など、ビジネスにおいてもカラオケに行くことも多くなる季節です。
社会人としてカラオケとはいえ、友達と一緒に行くノリでいってはいけません。
上司や取引先と一緒に歌いたい歌を、上手に歌えばいいというわけにはいきません。

取引先のクライアントと一緒にカラオケに行って、得意な曲を気持ちよく上手に歌って、場がしらけるなんてこともあります。また、逆に難しいと思われた大きな案件をセールスした方もいます。
カラオケは、立ち振る舞い方で上司や取引先との心の距離を縮めるきっかけにもなるのです。

そこで今回はカラオケを上手に使うって、自己評価を上げる方法や、上司や取引先とのカラオケでのふるまい方、ビジネスの場面におけるカラオケ活用術で最初を知るべき事項をまとめました。



【カラオケをうまく使って自己の評価をあげよう！】

懇親会や接待などでカラオケに行く場合、【カラオケを使って他人と関係を深める】という意識をもつこと大切です。
『歌唱力』は、基本的にはあまり関係ないのです。

具体的には、【視線を相手に向ける】ことがポイントです。どんな職業でも相手(お客さん)の為にサービスや商品を提供するのです。カラオケも実は同じ意識が大切なのです。【視線を相手に向ける】だけであなたの評価はあがるのです。

やってはいけないことは、カラオケ施設に入室した途端、自らマイクをもつという行動です。リクエストされない限り、1番最初に歌うのは控えましょう。



【プレパレーションしよう。】

ビジネスでもカラオケでも準備することが大切です。準備といっても、喉の調子を整えたり、新しい曲をおぼえたり、ボイストレーニングをするといったこと、とは違います。

上司や取引先のクライアントの、カラオケの十八番をある程度リサーチしましょう。リサーチする「気持ち」が大切です。「そんなことまで気にかけてくれる」とあなたの評価は上がります。

また上司やクライアントの得意な曲を先に歌ってしまうという失敗も回避できます。さらにその上司や取引先の歌う曲を覚えておくと、「合いの手をいれて盛り上げる」なんて事も出来ます。

カラオケは一体感をもって楽しむことが最高の醍醐味です。初めての席ではクライアントも緊張していることも多いでしょう。少しでも歌いやすい場を作るように、盛り上げる工夫も必要です。

十八番を事前にリサーチしきれなくても、合いの手がある曲は盛り上がる雰囲気を出しやすいです。



そこで、合いの手があり、盛り上がる老若男女、なんとなく知っているおすすめの曲を紹介します。

【男性曲編】

サザンオールスターズ 『勝手にシンドバッド』

この曲は 1988 年サザンオールスターズのデビューシングル曲です。
どの世代のクライアントも知っているかと思います。

歌ってみると、この曲はリズム感が必要ですが、合いの手といたらこの曲です。
「今何時？」「そうねだいたいね」「今何時？」「ちょっとまってよ」「今何時？」「まだ早い」
盛り上げられることまちがいなしです。

【女性曲編】

AKB48 『ヘビーローテーション』

この曲は 2010 年 AKB48 のシングル曲です。
アイドルソングなので歌いやすいです。

安定感のあるリズムなので、聴き心地もよく
可愛い印象を与られます。

この曲は合わせられる部分が多く、みんなと一緒に盛り上げられる曲です。

【男性女性どちらでも】

フィンガーファイブ『学園天国』

1973 年に大ヒットしたフィンガー5 の「学園天国」ですが、数多くのアーティストがカバーしていますので
どの世代でも聴いたことがある曲です。
合いの手といたらこの曲です。

「へーいへーへーへーへい」は誰でも応えたくになります。
盛り上げられることまちがいないです。



【これでビジネスもOK！！ 上司や取引先の年代別おすすめのカラオケ選曲】

20～30代

SEKAI NO OWARI『スターライトパレード』

高いところはすべて「オイ、キタロー」の声で歌うとあら不思議！！透明感のあるイケメンボイスのできあがり！有名な曲なのでみんな盛り上がります。

キテレツ大百科の『はじめてのチュウ』

ただし歌うのはパンクバンド Hi-STANDARD の My first kiss にしましょう。

キテレツ大百科の『はじめてのチュウ』を英語訳しています。

また英語歌詞ですが簡単な英語ですし、サビは「It is my first kiss chu ! Kiss with you」と誰でも口ずさめます。親近感のあるリズムとメロディなので歌うのはそんなに難しくありません。どの世代も馴染みある歌ですし、必ず耳に残ります。

EXILE『Choo Choo TRAIN』

これも老若男女、みんなが知っている曲なので盛り上がります。

福山雅治『HELLO 』

ノリがいいですし、比較的声が出なくても歌いやすい曲です。福山雅治さんの曲はどれも歌いやすいので他の曲でもおすすめします。

40代

THE 虎舞竜『ロード』

まったく音程をとれなくても大丈夫！「歌詞」を読むように歌ってもそれなりに聴こえてしまいます。
小説を読むように歌っても歌詞がいいので、みんな聴きこみます。

浪漫飛行『米米 CLUB』

有名な曲なので20代も知っています。高音域ですが全てウラ声でソフトにうたうと上手く歌えます。

DREAMS COME TRUE『うれしい! たのしい! 大好き!』

ドリカムを知らない人はまずいないです。歌詞の内容が「ずっと探していた人(会社・上司)に巡り会えた」という内容ですので、上司も気持ち良くなるでしょう。こちらが歌ってもいい曲です。

SMAP『SHAKE』

ノリが最高にいい曲です。SHAKEもおすすめです。打ち上げ！というときに歌うといいですね。その場の全員のノリが良くなります！ただし歌詞の内容は「仕事やりたくない」という内容ですのでご注意を。

50代

ダウン・タウン・ブギウギ・バンド『港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ』

1975年東芝EMIから発売されたダウン・タウン・ブギウギ・バンド4作目のシングル曲です。累計売上はミリオンセラーに達しています。神奈川県のご当地ソングです。
楽曲の大半がギターリフをバックに語られるセリフなのでまったく音程がとれない方でも安心です。

坂本九『明日があるさ』

数多くの歌手にカバーしているのでとても有名な曲です。中西圭三さんやウルフルズや吉本興業所属の芸人によるユニットのRe:Japan 森高千里さんも歌っています。
音域が狭くても咽喉の力を抜いて、がならなければ比較的楽に歌えます。リズムに気を付けて歌いましょう。

かぐや姫『神田川』

雰囲気をもった味わいある曲です。
メロディがいいので声がでない方でも歌える曲です。

BORO『大阪で生まれた女』

1979年ポリドールから発売された、BOROさんの名曲です。
30組を超えるアーティストがカバーしています。
低い声の方でも歌えます。高い箇所は多少喉声でもこの曲はかっこよく聴こえます

中村雅俊『ふれあい』

メロディの動きが少ないので比較的簡単にです。

ムーディに歌います。



【カラオケが苦手な人のふるまい方】

カラオケが苦手な人がビジネスシーンで、カラオケに行かなくては行けなくなる場合も多々あると思います。

そんなときのふるまい方をお伝えします！

1. 大きな声で歌うが、ガナらない。

カラオケに自信のない方はどうしても声が小さくなってしまいます。ただ声が小さくなってしまうと聴く人にたいしてマイナスの印象が強くなるので、大きな声でうたいましょう。

2. リズムは「リズム感」を養うのではなく【おぼえる】

丸暗記する感覚です。丸暗記するには、いきなりカラオケを歌うより「原曲」を聴く事です。

「丸暗記」しようと思って聴くのです。『リズム感をよくする』という考えはいったん横に置いておいて、それよりひたすら「聴いて」タイミングをおぼえましょう。

3. 失敗しても気にしないで歌う。

カラオケに苦手意識を持っている方は、リズムがずれたりピッチ(音程)をはずしたり、間違えたりした時に『やばい！ またはずしちゃった！！』と恥ずかしさや不安感などを出してしまいがちです。中には声に出して「反省」や「いいわけ」を口にする方も多くみられます。ですが、聴いてる人が「この人下手だなあ」とか「この人駄目だなあ」「この人といっても楽しくないなあ」などと感じるのはあなたが歌で失敗した時ではないのです。

あなたがミスしたことを気にしてそれを、言葉にしたり表情や態度などでみせてしまった時、またそのミスをいいわけなんかしてごまかそうとしている時なのです。

だから多少ミスがあっても『気にせず歌いきれば』なんの問題もありません。

4. 他の人が歌い終わったら、歌やその人に対してコメント

他人が歌い終わったら、歌い方、歌声、曲などに対して3つ以上コメントして下さい。

ポジティブなものがいいです。これがよいリアクションとなり上司やクライアントとの関係を深める雰囲気を作れます。

他人の歌・歌声を褒めるセリフは、上手くなかったとしても『歌っている時の声、いいですね』がいいでしょう。また、曲を褒めましょう。『選曲のセンスいいですね。』などです。

また、その本人からすると選んだ曲というのはそれなりに思い入れのあるものが多いものです。『この人、わかっているね！』『そうそう、そうなんだ』『この曲の良さをわかる人は親近感を感じる！』と思い、いい印象を与えることにつながります。その結果、あなたの印象度 UP になるのです。さらにはまわりからも「気配りが出来る人材」と好評化を得るでしょう。少なくとも好印象なのは間違いないでしょう。

5. 自信がない場合「タンバリン」などは不要

これはタイミングが合わないと単純に邪魔だし、曲の雰囲気がかぶちこわしになる恐れがあるので、リズム感に自信がない場合はやめておいたほうが無難です。



<まとめ>

大事なのは「お客さま」「上司」の気持ちを考えて行動する、あらかじめ準備をするといった「礼儀」なのです。「礼儀」がない方は誰からも好かれません。

当たり前ともいえる、最低限のマナーを守るだけでビジネスもカラオケもうまくいくのです。

【文責 本山 nackey ナオト】

■ボイストレーニングの指導には定評があり、これまで 25 年のボイストレーニング指導で延べ 2000 人(組)以上に指導、多くのプロ歌手を育成。多くのプロボカリストをディレクション。アーティスト自身も気付かない長所や能力を引出しプロデュースするスペシャリスト。

[SMD ボーカル教室](http://www.smdvocal.com) <http://www.smdvocal.com>

[お役立ち関連記事](#) (取材記事)

<http://oshiete.goo.ne.jp/watch/entry/657de220c1e880af6efa68743ee68f9e/>

